

日本の名歌

AKAとんぼ

ゆるく おだやかに $\text{♩} = 60$

木山 露耕 風笛 作詞
三作曲



ゆうやけ こやけの あかとんぼ



おわれてみたのは いつのひか

大正十年八月「櫻の実」に詞が発表され、
昭和二年一月作曲「童謡百曲集」の第一集に
掲載されました。

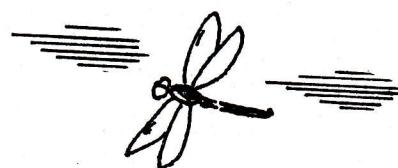
4 夕やけ小やけの 赤とんぼ
とまつて いるよ 竿の先

3 十五で姉やは 嫁に行き
お里のたよりも 絶えはてた

2 山の畑の 桑の実を

小籠に摘んだは まぼろしか

1 夕やけ小やけの 赤とんぼ
負られて見たのは いつの日か



南満洲（現中国の東北部）を舞台に作られたこの歌は、大正十二年十二月に作曲され、同十四年五月「子供の村」に発表されました。